



学校だより（家庭版・地域版）

金剛沢

三者協働で目指す重点目標

「開かれた地域社会の将来を担う子供の育成」

令和5年10月25日 No.8
 仙台市立金剛沢小学校
 校長 齋藤 雅人
<http://www.sendai-c.ed.jp/~kgs-el>
 TEL:245-6553 FAX:245-8954



学校ブログは
こちらから



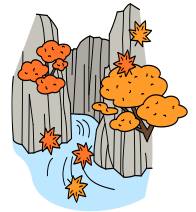
2学期スタート！



校庭の木々も色付き、一段と秋の深まりが感じられるようになりました。

10月12日の第2学期始業式から約2週間が過ぎました。子供たちは、思いを新たに2学期の目標を立て、学習活動に取り組んでいます。

2学期も引き続き、保護者の皆様、地域の皆様と共に職員一同「チーム金剛沢小」として、一丸となって子供たちのよりよい成長のために力を合わせてまいります。今後も本校の教育活動にご支援、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。



「関わり合いを大切にし、共に学ぶ」カードについて

夏休み期間に実践していただいた結果についてご報告いたします。

Google forms での回答が264件でした。

児童の目当てが多かったものは、お母さんの手伝いをするといったことや家での手伝いを頑張るというものでした。その他、具体的には、「夕ご飯のご飯を炊く」や「週3回ゴミ出しをする」、「週に2回はお風呂掃除をする」といった内容の記述が多くありました。

〈夏休みの振り返り〉

【児童の回答】

「家庭の手伝いなどで自分にできる役割を見付け、活動する」

Aよくできた42.1% Bできた47.2% Cあまりできなかった10.6%という結果でした。

【保護者の回答】

「お子さんは、ご家庭で自分のできる手伝いをしている」

Aよくできている32.3% Bおおむねできている52.4% Cあまりできていない14.6% Dできていない0.8% という結果でした。

「お子さんは、ご家庭や地域で自分から役割を見付けて取り組んでいる」

Aよくできている18.5% Bおおむねできている55.9% Cあまりできていない23.2% Dできていない2.4% という結果でした。

アンケートの結果から、ご家庭でお子さんに声を掛けていただくなど働き掛けていただいたことがよく分かりました。ご協力いただきありがとうございます。

保護者の皆様からは、児童が進んでお手伝いをしていたとの声がほとんどでした。特に、食事の準備・後片付けやお風呂掃除、洗濯、ゴミ出しなど手伝いを頑張っていたことが分かりました。

先月の学校便りでお伝えしたとおり、積極的に役割を見付けることや進んで関わる姿勢が、地域での児童の善い行いとして表れていると思います。今後も児童のよさを伸ばしていくよう学校でも取り組んでまいります。

また、協働型学校評価の重点目標である「80%以上の児童が学校の係活動や家庭の手伝いなどで自分にできる役割を見付け、活動する」ことを目標としていますので、「あまりできなかった」という反省については今後も、ご家庭でのお声掛けやご支援をよろしくお願いいたします。学校でも、お子さんを励ましていきたいと思っております。

- 毎月第二木曜日と24日は「にしたがUPデー」です。メディア（テレビ・スマホ・PC・ゲーム等）を利用している時間を、家庭学習や読書、家族の触れ合いの時間に充て、より良い生活リズムを確立しようという日のことです。ご協力をお願いいたします。